

レジメン名

SOX+Trastuzumab療法

出典 Cancer Chemother Pharmacol. 2020 Jan;85(1):217-223.

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

HER2陽性胃癌

進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準(エルプラット)

WBC	1000/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満
ANC	500/mm ³ 未満		
その他	nadir時に以上基準を満たした時 投与日のPLT 10万/mm ³ 未満の時 投与日のANC 1500/mm ³ 未満の時 Grade3以上の発熱性好中球減少症、Grade2以上の末梢神経障害 以上基準を満たした時以下のように減量 L-OHP: 130mg/m ² →100mg/m ² →75mg/m ² →50mg/m ²		

投与減量の基準(ティーエスワン)

WBC	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
ANC	500/mm ³ 未満	CLcr	60mL/min未満 ^{※3}
その他	Grade3以上の発熱性好中球減少症 以上基準を満たした時以下のように減量 TS-1: 80mg/m ² →1段階減量→2段階減量		

投与中止の基準

WBC	12000/mm ³ 以上	PLT	10万/mm ³ 未満
ANC	1500/mm ³ 未満	AST、ALT	100IU/Lを超える [※]
sCR	1.5mg/dLを超える	CLcr	30mL/min未満 ^{※3}
Hb	8.0g/dL未満	LVEF	50%未満
その他	※肝転移症例では200IU/Lを超える Grade3以上のInfusion reactionでL-OHP中止		

1コース期間

21日

総コース数

PDまで

(次のコースまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
トラスツズマブ	初回8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	生食250mL	90分 ^{※1}	day1
※1 初回90分で忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				
オキサリプラチン(エルプラット)	100or130 mg/m ²	5%糖液 500mL	2時間	d1
ティーエスワン	80mg/m ² ^{※2}	朝、夕食後		d1タ-15朝
※2 体表面積ごとで初回基準量を決める 1.25m ² 未満: 40mg/回 1.25m ² 以上~1.5m ² 未満: 50mg/回 1.5m ² 以上: 60mg/回				
※3 腎機能によるティーエスワン初回基準量 80>CCr(mL/min)≥60: 必要に応じ1段階減量 60>CCr(mL/min)≥30: 原則として1段階以上の減量(40未満は2段階減量が望ましい) 減量方法: 100mg/日→80mg/日→60mg/日→中止				

1日投与順 (経時的にブレンド・ ポストディケーション、溶解液まで含む)
day1 ①生食100mL (ルート確保用) ②トラスツズマブ+注射用水必要量+ 生食250mL (90分 ^{※1}) ③アロキシ0.75mg+デキササート6.6mg +生食50mL (15分) ④エルプラット100or130mg/m ² + 5%糖液500mL (2時間) ⑤生食50mL(フラッシュ用) day1タ-15朝 TS-1 80mg/m ² ^{※2,3} 分2 朝夕食後